

学外教育研修会の参加報告書

研修会の名称:科学技術教育支援WG

開催年月日:平成18年8月23日(水)・24日(木)

開催場所:有明高専

報告者氏名:中島賢治

研修会の内容

【出席者】

尾崎校長(有明)、宮川校長(八代)、平島先生(北九州)、宮内先生(北九州)、越地先生(久留米)、吉田先生(有明)、中島賢治(佐世保)、山本先生(熊本電波)、開先生(八代)、上土井先生(八代)、工藤先生(大分)、森寛先生(都城)、中島正弘先生(鹿児島)、松栄先生(沖縄)

【主な内容】

上記出席者+事務員2名で、1日目に(1)校長あいさつ(2)取り組み内容報告、2日目に(3)科学技術教育支援用パンフレットの作成(4)今後の活動についての会議がもたれた。

(2)の取り組み内容報告で、各高専の科学技術教育支援の取り組みについて報告された。有明と八代、佐世保はよく取り組んでいる方だった。有明は小中学校に貸し出すための卓上実験装置ライブラリーの設置と、夏休みの1週間を使い製作から取り組むロボットリーグの開催が特徴的だった。八代も精力的で、ミニミニ科学館と称した実験装置ライブラリーのカタログ製作、科学技術教育支援用パンフレットの製作など、取り組んだ内容をデータ化している点が他校よりも進んでいた。佐世保の報告では、「コミュニケーションを科学する」「絵本の製作」「天気図の作成」など、一般科目文系の先生方の取り組みが感心された。

また、小中学校のカリキュラムの1コマをもらい、毎週1時間で約半年間の授業を高専教員が行っている例が問題視され、本来の目的と高専教員の役割から逸脱するのでは?という指摘があった。

